



密集から素早くパスを展開するトップリーグ選抜の選手
＝長良川球技メドウ

「パログループ presents」日仏ラグ

トップL選抜 雨中の調整

あす日仏慈善ラグビー 長良川競技場

ビーチチャリティマッチ2019 FOR ALL 復興（岐阜新聞社、岐阜放送後援）に出場するトップリーグ選抜のトレーニングが31日、長良川球技メドウで行われ、入念に練習を確認した。

【関連記事14面に

選手たちは30日に岐阜入りし、練習は第2日。午前中にフィジカルトレーニングを行い、午後は雨の中、約1時間半、ピッチ練習に励んだ。

ピッチ練習では関係確認にほとんどの時間を割いた。デーブ・ディロンヘッドコーチがプレーを止めて、ゴール前などエリアごとにマークの徹底などチーム内の約束事を確認していた。主将のSH日和佐篤は「ワールドカップの日本代表入りを目標に、練習は第2日。午前中にフィジカルトレーニングを行い、午後は雨の中、約1時間半、ピッチ練習に励んだ。」

指す選手ばかりなので、良いパフォーマンスを出すのが大切。チームの特徴である、ボールを大きく動かすことで、チャンスを生み出したい」と力を込めた。日仏ラグビーは長良川競技場で、2日午後2時キックオフ。